

2011年7月19日

[1]The 13th IFTOMM World Congress開催報告

2011年6月19日～25日に、メキシコ合衆国グアナフアト市のグアナフアト大学において、国際会議The 13th IFTOMM World Congressが開催された。キーノートスピーチ3件と309件、8講演室、93セッションの講演があり、参加者は38ヶ国・地域、332名であり、日本IFTOMM会議からも12名の参加があった。

大会中にGeneral Assemblyが開催され、Constitutionの改正、新規加入国(デンマーク、ポルトガル、トルコ、エジプト)の承認、会費未納による除名(カザフスタン、モンゴル)の承認、本部収支決算報告と承認、TCの再編と新設(詳細は下表1)の確認、表彰(Dedicated Service Award 2名、Award of Merit 2名、Honorary members 4名)の承認の後、次期(2012-2015年)のExecutive Council Memberの選挙が行われ、本会前委員長中村仁彦先生が会長に選出された(当選者一覧を表2に示す)。さらに、次期World Congress(2015年開催)の候補地の招致プレゼンと投票が行われた。本会も2015年6月広島開催を提案したものの、残念ながらドイツ、台湾との投票に破れ、最終的に2015年6月4日(日)～10日(土)台湾台北市での開催が決定した。

最後に、時間が短くなった中、Banquetが開催され、各国参加者の交流を深めることができた。

次ページ以下に、会議の様子を写真で示す。

文責 岩 附

表1 IFTOMM Technical Committeeの再編と新設

- ・ Robotics TCとMechatronics TCが統合して Robotics・Mechtronics TC
- ・ Linkages and Cam TC が名称変更して Linkage and Mechanical Controls TC
- ・ Gearing TC が名称変更して Gearing and Transmissions RC
- ・ Nonlinear oscillation TC が名称変更して Vibrations TC
- ・ Sustainable Energy Systems TC が新設
- ・ Bioengineering TC が新設

表2 IFTOMM Executive Council Member 2012-2015

- ・ President : 中村仁彦 (日本)
- ・ Vice President: V. Goldfarb (ロシア)
- ・ Secretary General: T. Zielinska (ポーランド)
- ・ Treasurer : J. Herder (オランダ)
- ・ Members : S. H. Chang (中国台北)
- B. Corves (ドイツ)
- V. J. Kumar (米国)
- J. P. Merlet (フランス)
- D. Qin (中国北京)
- J. Carretero (カナダ)

IFTToMM World Congress 2011, Guanajuato, Mexico June 20-25, 2011



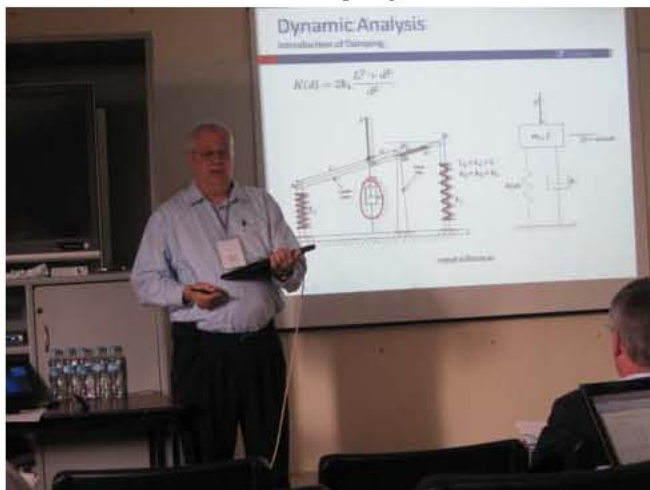
Guanajuato 市街地



Welcome party



Opening ceremony 直前



講演



Keynote speech (Prof. MacCarthy)



全体写真



Luncheon にて



General Assembly



General Assembly 各国代表席



次期 World Congress 招致プレゼン



Banquet における次期 EC 委員紹介



中村次期 President 挨拶



Honorary member 表彰



Banquet における余興

[2]第17回日本IFTtoMM会議シンポジウムの報告

2011年7月16日(土), 東京工業大学石川台3号館工学系会議室において, 総会に先立ち, 下記の要領で2011年度第17回のシンポジウムが開催された. 4セッション12件の講演発表術」が行われ, 約50名の参加者により活発な討論が行われた. シンポジウムの様子を写真で示す.

第17回 日本IFTtoMM会議シンポジウム プログラム

日 時: 2011年7月16日(土)9:55~19:00

会 場: 東京工業大学石川台3号館3階工学系会議室(304号室)

発表テーマ:

セッション1: 「人間の運動と力の計測」 座長 山本 江(東工大)

1. センサフュージョンを用いたマーカレスモーションキャプチャ
○榎本皓太(農工大院), ベンチャー・ジェンチャン
2. 人間の大規模行動データベースを用いた2次元映像から3次元身体運動への復元技術
○高野 渉(東京大), 石川淳一, 中村仁彦
3. 力学同定を用いた複数の接触点における外力計算
○川嶋雄太(農工大院), ベンチャー・ジェンチャン, 河島則天(国立障害者リハ研)

セッション2: 「運動機構の開発」 座長 岡田昌史(東工大)

4. 変形機構を備えた玩具の設計および試作
○谷口守孝(ものづくり大院), 松本宏行(ものづくり大), 大石久己(工学院大)
5. リンク型可変減速機構を導入した脚機構の開発
○野澤峻平(電通大院), 丸山 央, 明愛国(電通大), 下条 誠
6. 弾性ジョイントを用いた大作業領域パラレルロボットの開発
○米本慶治(東工大院), トウセイ(元東工大院), 樋口 勝(日本工大), 武田行生(東工大院)

セッション3: 「振動および機械要素」 座長 岩附信行(東工大)

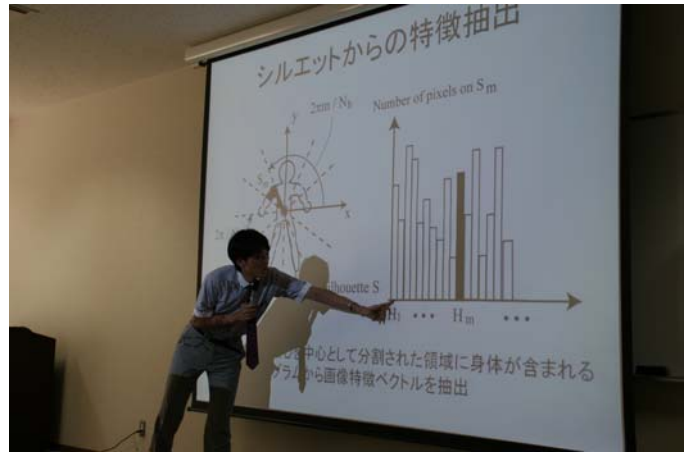
7. 高次スペクトルを用いた非線形振動系における実験解析
○松本宏行(ものづくり大), 大石久己(工学院大), 山川新二, 芝崎達朗, 村岡広基
8. フォイル軸受の静特性, 動特性及び温度特性の解析手法の提案
○馮 凱(東工大精研), 金子成彦(東京大), 松村茂樹(東工大精研), 北條春夫
9. ブルドンチューブアクチュエータ(BTA)による駆動システムの研究
○大西謙吾(東京電機大), 大島 徹(富山県立大), 東原孝典(高松義肢製作所), 斎藤之男(元東京電機大)

セッション4: 「アクチュエータ」 座長 中村仁彦(東京大)

10. マンタの動きを模倣したソフト水中ロボットの開発
○大阪拓真(電通大院), 新竹 純(電通大), 明愛国, 下条 誠
11. 回転形変圧器による静電モータの駆動に関する研究
○金山史彰(東京大), 細畠拓也, 山本晃生, 樋口俊郎
12. 水力学的骨格を利用したアクチュエータ並列配置型駆動機構
○木村 仁(東工大), 松崎拓哉, 片岡木太郎, 伊能教夫



中村前委員長開会挨拶



講演



講演会場



講演



質疑応答



質疑応答



北條委員長閉会挨拶

また、2005年度から創設された「Young Investigator Fund」に基づくBest Paper Awardについて、本会フェローで構成される審査委員会による講演論文の事前審査に基づき、下記3名のFinalistが選出され、

- (1)ものづくり大学大学院 谷口守孝君
論文:変形機構を備えた玩具の設計および試作
- (2)東京工業大学大学院 米本慶治君
論文:弾性ジョイントを用いた大作業領域パラレルロボットの開発
- (3)東京大学大学院 金山史彰君
論文:回転形変圧器による静電モータの駆動に関する研究

さらに、講演発表の審査に基づき、ものづくり大学大学院 谷口守孝君にBest Paper Awardを贈賞した。

その表彰式はシンポジウム終了後の総会席上で審査委員長北條実行委員長の司会により開催され、Best Paper Award受賞者には賞状、賞牌、賞品ならびにFinalistには賞状および賞品が中村実行委員長より贈呈された。その表彰式の写真を示す。(文責 岩附)



Finalist



Best Paper Awardの賞状・賞牌の贈呈

[3]2011年度日本IFTtoMM会議総会の報告

2011年7月16日(土), 東京工業大学石川台3号館工学系会議室において2011年度総会が開催され, 2010年度の事業報告, 収支決算報告および監査報告, 2011年度の事業計画および収支予算の審議ならびに承認, および役員構成に関する会則の変更が行われ, 次期実行委員を選出した. 主な議事, 決定内容の詳細は下記の通りである.

I. 2010年度事業報告

1. 国際活動

- (1) 14th IFTtoMM World Congress (2015年開催)の主催立候補を決定, 実行委員会の下に準備委員会を設立して企画立案
- (2) 執行委員会 (2010年11月12日, 13日, チュニジア, スース市にて開催, 2011年6月20日, 25日, メキシコ, グアナファト市にて開催)に出席, 2007-2011 Activity Reportを提出(付録1にReport)するとともに, 14th IFTtoMM World Congress (2015年開催)の日本招致の提案説明 (付録1に2007-2011 Activity Report)
- (3) 国際会議 2nd IFTtoMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science (Aisan-MMS2012) の主催を決定, 実行委員会の下に準備委員会を設立して企画立案の後, Scientific Committeeにて承認され, Call for Papersを作成するとともに, 公式WEBサイトを開設(2012年11月7日~10日, 東京工業大学大岡山キャンパスで開催) (付録2にCall for Papers)
- (4) 13th IFTtoMM World Congress (2011年6月20日~24日, メキシコ, グアナファト市にて開催)に参加, (本会会員12名)し, General Assemblyにて14th IFTtoMM World Congressの日本招致を提案するも, 投票により台湾開催が決定. また2012-2015執行委員会選挙が行われ, 中村仁彦現副会長の会長就任が決定.
- (5) 国際会議 18th CISM-IFTtoMM Symposium on Robot Design, Dynamics, and Control (Romansy2010) (2010年6月5日~8日, ウデネ, イタリアにて開催)へ協賛
- (6) 国際会議 5th Asian Conference on Multibody Dynamics(ACMD2010) (2010年8月23日~26日, 京都市, 京都大学にて開催)へ協賛
- (7) 国際会議 8th International Conference on Rotor Dynamics Conference (2010年9月12日~15日, 韓国, ソウル市, KISTにて開催)へ協賛
- (8) 国際会議 1st IFTtoMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science (Aisan-MMS2010) (2010年10月21日~25日, 台北市, 台湾にて開催)へ協賛
- (9) 国際会議 2nd International Conference on Design Engineering and Science (ICDES2010) (2010年11月17日~20日, 東京, 東京理科大学にて開催)へ協賛
- (10) 国際会議 14th International Conference on Mechatronics Technology (ICMT2009) (2010年11月24日~26日, 大阪, 吹田市にて開催)へ協賛
- (11) 国際学生コンテスト 1st Students International Olympiad on Mechanisms and Machine Science (2011年4月19日~21日, ロシア, イチェベスクにて開催)へ協賛

2. 国内活動

- (1) 実行委員会を3回開催(2010年11月6日, 2011年2月2日, 6月27日)
- (2) 2010年度総会を開催(2010年11月6日, 東京工業大学)
- (3) 第16回日本IFTtoMM会議シンポジウムを開催(2010年11月6日, 東京工業大学)
- (4) 若手会員育成のためのシンポジウム表彰
(若手会員育成基金「Young Investigator Fund」に基づく優秀論文賞授与,
2010年度第16回シンポジウムにて)
- (5) 2nd IFTtoMM Asian Conference on MMSならび14th IFTtoMM World Congress計画準備
委員会を3回開催(2011年2月2日, 3月29日, 4月22日)
- (6) 2nd IFTtoMM Asian Conference on MMS実行委員会を1回開催(2011年6月27日)
- (7) 日本IFTtoMMニュースNo.38を発行(2010年12月6日)
- (8) 日本IFTtoMM会議のドメイン名を取得し公式WEBサイトを移転し, 更新
ドメイン名: [jc-iftomm.org](http://www.jc-iftomm.org)
WEBアドレス: <http://www.jc-iftomm.org/>
事務局メールアドレス: secretariat@jc-iftomm.org
- (9) 実行委員の交代
下記の実行委員の交代を行った。
 - ・中村仁彦委員長: 実行委員長を退任して実行委員へ
(World CongressのGeneral AssemblyにおけるMember Organization
投票権確保のため)
 - ・北條春夫副委員長: 実行委員長代行へ
(中村実行委員長の退任に伴い)
 - ・松日楽信人委員: 賛助会員東芝の代表実行委員を退任
 - ・宮川豊美委員: 賛助会員東芝の代表実行委員として就任

3. 会員の状況 (2011年4月1日現在)

個人会員: 110名

賛助会員: 4団体 ((株)小笠原プレジジョンラボラトリー, (財)機械振興協会,
(株)東芝, 日機装(株))

Ⅱ. 2010年度収支決算報告(2010年4月1日～2011年3月31日)

1. 一般会計

収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
会費収入(個人)	600,000	445,000	2010 5,000×78 2009 5,000×9 2008 5,000×2
会費収入(賛助)	200,000	200,000	2010 50,000×4社
予稿集売り上げ	10,000	2,000	
技術交流会会費	100,000	85,000	5,000×17名
見学会懇親会会費	60,000	0	
Young Investigator Fundより繰入	40,000	40,000	(YIA基金より繰入)
利息		273	
小計	1,010,000	772,273	
前期繰越金	71,134	71,134	
合計	1,081,134	843,407	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
[国際活動費]	240,000	205,800	2010年度会費
IFTtoMM 年会費	230,000	196,800	US\$ 2,400.00 × 82
送金手数料	10,000	9,000	
[国内活動費]	383,500	315,668	
会議費	12,000	12,080	実行委員会費用
シンポジウム・総会費	200,000	179,200	
見学会費用	10,000	0	実施せず
通信費	34,000	14,920	切手、宅急便等
コピー代	15,000	4,000	
事務委託費	80,000	80,000	年間
郵便振替費	7,000	7,070	
ホームページ維持費	12,000	12,000	年間
フェロー記念品	3,500	3,500	
予備費(雑費)	10,000	2,898	文具等
[MMT誌費]	68,000	68,000	17,000 × 4 (2010Vol.45)
賛助会員購読料	68,000	68,000	(MMT誌会計へ繰入れ)
[Young Investigator Fund表彰]	40,000	33,605	
商品	30,000	30,000	
賞状及び賞楯	4,000	3,605	
通信費	6,000	0	
国際会議準備金積立	150,000	150,000	
国際交流活動準備金	100,000	100,000	
小計	981,500	873,073	
次期繰越金	99,634	-29,666	
合計	1,081,134	843,407	

2. MMT誌会計

収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
MMT誌購読料収入 個人	340,000	323,000	17,000 × 16 (2010Vol.45) 17,000 × 2 (2009Vol.44) 17,000 × 1 (2008Vol.43)
賛助	68,000	68,000	17,000 × 4 (2010) (一般会計から繰入れ)
小計	408,000	391,000	
前期からの繰越金	0	0	
合計	408,000	391,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
出版社への支払	384,000	319,200	VOL. 45 (2010) ¥15,200 × 21 (一冊単価: ¥15,200)
送金手数料	10,000	9,000	
小計	394,000	328,200	
次期への繰越金	14,000	62,800	
合計	408,000	391,000	

3. 基金等

(1) Young Investigator Fund

収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
前期からの繰越金	804,475	804,475	
合計	804,475	804,475	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
一般会計へ繰り入れ	40,000	40,000	
次期への繰越金	764,475	764,475	
合計	804,475	804,475	

(2) 国際会議準備金

収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
前期からの繰越金	1,313,000	1,313,000	
一般会計から積立	150,000	150,000	
合計	1,463,000	1,463,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
次期への繰越金	1,463,000	1,463,000	
合計	1,463,000	1,463,000	

(3) 国際交流活動準備金

収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
前期からの繰越金	1,026,420	1,026,420	
一般会計から積立	100,000	100,000	
合計	1,126,420	1,126,420	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	決算	備考
次期への繰越金	1,126,420	1,126,420	
合計	1,126,420	1,126,420	

Ⅲ. 2010年度監査報告

費目	当期末 剰余金	剰余金 処理	備考	次期への 繰越金(当 期末財産)	前期から の繰越金 (前期末財 産)	財産 増減
一般会計	-29,666	62,800	MMT 誌会計より	33,134	71,134	-38,000
MMT 誌会計	62,800	-62,800	一般会計へ	0	0	0
基金等						
Young Investigator Fund	764,475	0		764,475	804,475	-40,000
国際会議準備金	1,463,000	0		1,463,000	1,313,000	150,000
国際交流活動等準備金	1,126,420	0		1,126,420	1,026,420	100,000
合計	3,387,029	0		3,387,029	3,215,029	172,000

上記のとおり相違ありません。

2011年4月

日本IFTtoMM会議実行委員会

委員長 中村 仁彦

幹事 岩附 信行

上記の調査を遂げ、その正確であることを承認します。

監事 大輪 武司

監事 吉本 堅一

IV. 2011年度事業計画案

1. 国際活動

- (1) 執行委員会 (2012年11月6日, 7日, 東京にて開催)に出席
- (2) 国際会議 2nd IFToMM Asian Conference on MMS (2012年11月7日～10日, 東京工業大学大岡山キャンパス, 東京にて開催)を主催, 実行委員会を数回開催
- (3) 国際会議 2nd IFToMM International Symposium on Robotics and Mechatronics (ISRM 2011) (2011年11月3日～5日, 中国, 上海にて開催)へ協賛
- (4) 国際会議 15th International Conference on Mechatronics Technology (ICMT2011) (2011年11月30日～12月2日, Novotel Melbourne on Collins, メルボルン市, オーストラリアにて開催)へ協賛
- (5) 国際会議 19th CISM-IFTToMM Symposium on Robot Design, Dynamics, and Control (Romansy2012) (2012年6月5日～8日, フランス, パリ市にて開催)へ協賛

2. 国内活動

- (1) 実行委員会を3回開催予定(2011年7月16日, 11月, 2012年4月)
- (2) 2011年度総会を開催(2011年7月16日, 東京工業大学)
- (3) 第17回日本IFTToMM会議シンポジウムを開催(2011年7月16日, 東京工業大学)
- (4) 若手会員育成のためのシンポジウム表彰
(若手会員育成基金「Young Investigator Fund」に基づく優秀論文賞授与,
2011年度第17回シンポジウムにて)
- (5) 日本IFTToMMニュースを年1回発行予定
- (6) 日本IFTToMM会議のWEBサイトを充実する
- (7) 特別講演会/見学会を企画する
・2011年11月 特別見学会(見学先未定)
- (8) 会員増強キャンペーンを行う

V. 2011年度収支予算案(2011年4月1日～2012年3月31日)

1. 一般会計

収入の部

(単位:円)

項目	予算	備考
会費収入(個人)	600,000	5,000 × 120 名
会費収入(賛助)	200,000	50,000 × 4 社
シンポジウム予稿集売り上げ	10,000	1,000 × 10 名
技術交流会会費	100,000	5,000 × 20 名
見学会懇親会会費	60,000	4,000 × 15 名
Young Investigator Fund 表彰経費	40,000	Young Investigator Fund より繰入
小計	1,010,000	
前期からの繰越金	33,134	
合計	1,043,134	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	備考
[国際活動費]	240,000	2011年度会費
IFTtoMM 年会費	230,000	US\$2,400.00
送金手数料	10,000	
[国内活動費]	383,500	
会議費	12,000	実行委員会費用
シンポジウム・総会費	200,000	シンポジウム・総会費用
見学会懇親会	10,000	
通信費	34,000	切手, 宅急便等
コピー代	15,000	
事務委託費	80,000	年間
郵便振替費	7,000	
ホームページ保守費	12,000	年間アルバイト雇用
ドメイン登録費	3,990	お名前ドットコム年間利用費
ホームページ用サーバ利用費	7,000	サーバ賃借料
フェロー記念品	3,500	
予備費(雑費)	10,000	文具等
[MMT誌費]	64,000	16,000 × 4 (2011 Vol.46)
賛助会員購読料	64,000	(MMT 誌会計へ繰入れ)
[Young Investigator Fund 表彰]	40,000	
賞品	30,000	図書カード
賞状および賞牌	4,000	レーザー彫刻賞牌
通信費	6,000	論文審査連絡通信費
国際会議準備金積立	150,000	
国際交流活動等準備金積立	100,000	
小計	988,490	
次期への繰越金	54,644	
合計	1,043,134	

2. MMT 誌会計

収入の部

(単位:円)

項目	予算	備考
MMT誌購読料収入		
個人	320,000	16,000×20 (2011 Vol.46)
賛助	64,000	16,000×4 (2011 Vol.46) (一般会計から繰入れ)
小計	384,000	
前期からの繰越金	0	
合計	384,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	備考
出版社への支払	372,000	15,500×24 (2011 Vol.46)
送金手数料	10,000	
小計	382,000	
次期への繰越金	2,000	
合計	384,000	

3. 基金等

(1) Young Investigator Fund

収入の部

(単位:円)

項目	予算	備考
前期からの繰越金	764,475	
合計	764,475	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	備考
一般会計へ繰り入れ	40,000	表彰経費
次期への繰越金	724,475	
合計	764,475	

(2) 国際会議準備金

収入の部

(単位:円)

項目	予算	備考
前期からの繰越金	1,463,000	
一般会計から積立	150,000	
合計	1,613,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	備考
次期への繰越金	1,613,000	
合計	1,613,000	

(3) 国際交流活動準備金

収入の部

(単位:円)

項目	予算	備考
前期からの繰越金	1,126,420	
一般会計から積立	100,000	
合計	1,226,420	

支出の部

(単位:円)

項目	予算	備考
次期への繰越金	1,226,420	
合計	1,226,420	

VI. 日本IFTtoMM会議会則の変更

本会の活性化, とくに来年度の国際会議の運営を見据えて, 実行委員会組織の改革のために, 具体的に, 副委員長を3名に増員して会務の分担主導を促進するとともに, 新たに副幹事を置き, 従来の幹事の職務を補佐するものとする. 本改革案は実行委員会の承認を受け, 総会にて, 下記の会則の変更を本総会に諮り, 出席会員28名全員の賛成を得て可決された.

<会則変更点(朱書部)>

第6条(組織)

(イ)会員は個人会員および賛助会員の2種類とする. 賛助会員は本会議に対する代表者1名を置く.

(ロ)本会議に下記の委員および会計監事を置く. 委員および会計監事の任期は原則として2年とし, 再任を妨げない.

1)委員長 1名 会を代表し会務を総括する.

2)副委員長 ~~2~~3名 委員長を補佐し, 必要のあるときは委員長の業務を代行する.

3)幹事 1名 会議の運営, 事業の企画・実行の庶務を統括する.

4)副幹事 1名 幹事を補佐し, 必要のあるときは幹事の業務を代行する.

4 5)実行委員 若干名 会議の事業の企画・実行などの会務を処理する.

5 6)会計監事 2名 会議の会計を監査する.

(ハ)本会議の運営に貢献の著しい個人会員に対して, 日本IFTtoMM会議フェローの称号を与える. 日本IFTtoMM会議フェローは実行委員会の推薦に基づき, 総会の議決をもって決定する. 日本IFTtoMM会議フェローは実行委員を務めることはできない.

VII. 2011年度日本IFTtoMM会議実行委員会委員

実行委員会組織の改革を受けて、下記の委員を推薦承認された。

委員長	※	北條 春夫	東京工業大学
副委員長		高西 淳夫	早稲田大学
	※	岩附 信行	東京工業大学
	※	佐々木 健	東京大学
幹事	※	武田 行生	東京工業大学
副幹事	※	竹村 研治郎	慶應義塾大学
委員		新井 健生	大阪大学
		池原 忠明	東京都立産業技術高等専門学校
		伊藤 高廣	九州工業大学
		伊能 教夫	東京工業大学
		内山 勝	東北大学
		大岩 孝彰	静岡大学
		大石 久己	工学院大学
	※	大西 謙吾	東京電機大学
		岡田 昌史	東京工業大学
		小俣 透	東京工業大学
	※	木口 量夫	佐賀大学
		五嶋 裕之	(財)機械振興協会
		小西 義昭	日機装(株)
	※	米田 隆志	芝浦工業大学
		小森 雅晴	京都大学
		近野 敦	東北大学
		佐々木 健	東京大学
		下田 博一	明治大学
		鈴木 康一	岡山大学
		高野 涉	東京大学
		高信 英明	工学院大学
		高増 潔	東京大学
		田中 英一郎	芝浦工業大学
		寺田 英嗣	山梨大学
		中田 毅	東京電機大学
		南後 淳	山形大学
		樋口 俊郎	東京大学
		福田 敏男	名古屋大学
		藤原 浩幸	防衛大学校
		前野 隆司	慶應義塾大学
	※	松元 明弘	東洋大学
	※	宮川 豊美	(株)東芝
		明 愛国	電気通信大学
		森脇 一郎	京都工芸繊維大学
		八島 真人	防衛大学校
		山中 仁	沼津工業高等専門学校
		山中 将	一関工業高等専門学校
		山本 晃生	東京大学
		横田 眞一	東京工業大学
		Jorge Solis	Karlstads universitet
		Venture Gentiane	東京農工大学
会計監事		大輪 武司	芝浦工業大学
	※	中村 仁彦	東京大学

※印は新任

付録1 :

SHORT REPORT FORM FOR ACTIVITY OF IFToMM MEMBER

Japanese Council of IFToMM (JAPAN)

<http://www.dynamics.mep.titech.ac.jp/iftomm/english/index.html>

REPORT OF ACTIVITY July 2007 – May 2011

1- DISCUSSION OF RECENT ACTIVITIES

The Japanese Council of IFToMM (Jc-IFTToMM) was established in July, 1978. The Jc-IFTToMM has played the leading role in Japan to establish and maintain the international exchange in mechanical engineering field. It has been one of the most important missions of the Jc-IFTToMM. In recent years the Jc-IFTToMM has taken an initiative to improve the member service. The Annual Jc-IFTToMM Symposium and the annual organized technical visit tour have been planned and executed every year. Notably, the Best Paper Award of Jc-IFTToMM Symposium was established in 2005 based on the Young Investigator Fund funded by the family of the late Professor Sumiji Fujii. The Award is intended to encourage young researchers and engineers who work in the domain of Mechanisms and Machine Science. The Jc-IFTToMM also actively joined the co-sponsorship of various international conferences, especially to ones associated with the IFTToMM. For example, the 17th CISM-IFTToMM Symposium on Robot Design, Dynamics and Control (ROMANSY2008) was held on 5th-9th July, 2008 at Waseda University, Tokyo, the International Conference on Motion and Power Transmissions (MPT2009) was held on 12th-15th May, 2009 in Matsushima, Sendai, 13th and 14th International Conference on Mechatronics Technology (ICMT2009, ICMT2010) were held on 20th-23rd October, 2009 in Cebu Island, Philippines and on 24th - 26th November, 2010 in Osaka, the 2nd International Conference on Design Engineering and Science (ICDES2010) was held on 17th-19th November, 2010 in Tokyo, and The 1st IFTToMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science (Asian-MMS 2010) was held on 21st-24th October, 2010 in Taipei, Taiwan. Then the Jc-IFTToMM will organize the 2nd IFTToMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science (Asian-MMS 2012) at Tokyo Institute of Technology Tokyo in November, 2012. The Jc-IFTToMM Executive Committee will continue to do their best to develop the researches and educations on mechanism and machine science.

2- MEETINGS AND VISITS

The Annual Meeting of the Jc-IFTToMM is scheduled on the same day that the Jc-IFTToMM Symposium is held in July. In the annual meeting, the international and domestic society activities and the financial report of the previous year are to be reported and to be approved. The activity plans, the budget and the executive committee members in the following year are to be determined after discussions. The following meetings were held during July 2007 – May 2010:

(1)2007 Annual meeting

Date & place: 12th July, 2007, at Conference Room 304, Ohokayama Campus, Tokyo Institute of Technology

Topics: 1) The 12th IFTToMM World Congress held on 17th – 21st, July in Besancon, France, was reported. Our chair, Prof. Yoshihiko NAKAMURA was elected as a vice president of IFTToMM in the General Assembly.

2) The Jc-IFTToMM supported three international conferences; ROMANSY2006, International Conference on Rotordynamics and ICMT2006.

3) Prof. Dr. Eng. Takahiro ITO, Toin University, Prof. Dr. Eng. Masahiro KOMORI, Kyoto University, Prof. Dr. Eng. Masashi YAMANAKA, Tohoku University, Prof. Dr. Eng. Koichi SUZUMORI, Okayama University and Prof. Dr. Eng. Kenichi YOSHIMOTO, Saitama Institute of Technology were elected as new executive committee members.

4) Prof. Dr. Eng. Shinji YAMAKAWA, Kogakuin University was approved for the Jc-IFTToMM fellows for his extraordinary service to the Jc-IFTToMM as an executive committee member.

5) The Jc-IFTToMM decided to support two international conferences, ICMA2008 and ROMANSY2008.

6) 14 members were elected as IFTToMM PCs and TCs.

(2)2008 Annual meeting

Date & place: 12th July, 2008, at Conference Room 304, Ohokayama Campus, Tokyo Institute of Technology

Topics: 1) ROMANSY2008 was reported.

2) The Jc-IFTToMM supported two international conferences; 12th IFTToMM World Congress, ICMT2007.

3) Prof. Dr. Eng. Shinichi YOKOTA, Tokyo Institute of Technology and Prof. Dr. Eng. Kejiro TAKEMURA, Keio University were elected as new executive committee members.

4) The Jc-IFTToMM decided to support two international conferences, ICMT2008.

(3)2009 Annual meeting

Date & place: 11th July, 2009, at Conference Room 304, Ohokayama Campus, Tokyo Institute of Technology

Topics: 1) The Jc-IFTToMM supported three international conferences; ICMA2008, ICMT2008 and MPT2009.

2) Prof. Dr. Eng. Takashi MAENO, Keio University and Prof. Dr. Eng. Hiroyuki FUJIWARA, National Defense Academy were elected as new executive committee members.

3) The Jc-IFTToMM decided to support two international conferences, ICMT2008 and The 1st Asian Conference on MMS, Taipei.

(4)2010 Annual meeting

Date & place: 6th November, 2010, at Conference Room 304, Ohokayama Campus, Tokyo Institute of Technology

Topics: 1) The Jc-IFTToMM supported three international conferences; ICMT2009, ISRM2009 and Romansy2010.

2) Prof. Dr. Eng. Takeo ARAI, Osaka University, Prof. Dr. Eng. Tadaaiki IKEHARA, Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology, Prof. Dr. Eng. Masafumi Okada, Tokyo Institute of Technology, Prof. Dr. Eng. Tohru OMATA, Tokyo Institute of Technology, Prof. Dr. Eng. Atsushi KONNO, Tohoku University, Prof. Dr. Eng. Ken SASAKI, Prof. Dr. Eng. Wataru TAKANO, The University of Tokyo, Prof. Dr. Eng. Yukio TAKEDA, Tokyo Institute of Technology, Prof. Dr. Eng. Eiichiro TANAKA, Shibaura Institute of Technology, Prof. Dr. Eng. Aigou

MING, The University of Electro Communications, Prof. Hitoshi YAMANAKA, Numazu National College of Technology, Prof. Dr. Eng. Akio YAMAMOTO, The University of Tokyo, Prof. Dr. Eng. Jorge SOLIS, Waseda University and Prof. Dr. Eng. Gentiane VENTURE, Tokyo University of Agriculture and Technology were elected as new executive committee members.

- 3) Prof. Dr. Eng. Yukio SAITO was approved for the Jc-IFTToMM fellows for his extraordinary service to the Jc-IFTToMM as an executive committee member, and Prof. Dr. Eng. Atsuo TAKANISHI, Waseda University was elected as a vice president of Jc-IFTToMM.
- 4) The Jc-IFTToMM decided to support two international conferences, ICMT2010, ICDES2010 and ISRM2011.
- 5) The Jc-IFTToMM will organize the 2nd FTToMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science (Asian-MMS 2012) at Tokyo Institute of Technology Tokyo in November, 2012.
- 6) The Jc-IFTToMM decided to run as a candidate to organize the 14th IFTToMM World Congress in 2015.

Several meetings of the Jc-IFTToMM Committee are held every year. The following meetings were held during July 2007-May 2011.

- (1) 2007 Executive Committee
 - 1) 12th July, 2007 at Tokyo Institute of Technology
 - 2) 28th March, 2008 at Tokyo Institute of Technology
 - 3) 7th July, 2008 at Tokyo Institute of Technology
- (2) 2008 Executive Committee
 - 1) 12th July, 2008 at Tokyo Institute of Technology
 - 2) 16th February, 2009 at Tokyo Institute of Technology
 - 3) 3rd July, 2009 at Tokyo Institute of Technology
- (3) 2009 Executive Committee
 - 1) 11th July, 2009 at Tokyo Institute of Technology
 - 2) 10th September, 2010 at Tokyo Institute of Technology
 - 3) 26th October, 2010 at Tokyo Institute of Technology
- (4) 2010 Executive Committee
 - 1) 6th November, 2010 at Tokyo Institute of Technology
 - 2) 2nd February, 2011 at Tokyo Institute of Technology
 - 3) 29th March, 2011 at Tokyo Institute of Technology
 - 4) 22nd April, 2011 at Tokyo Institute of Technology

A special technical visit tour is held once per year. The following visit tours were held during June 2007-September 2009:

- (1) Special visit tour 2008
Date & place: 10th December, 2008, All Nippon Airways Maintenance Center, Haneda, Tokyo
Topics: 1) Explanation on airplane maintenance
2) Factory tour of the maintenance center

3-RESEARCH JOINT COLLABORATIONS AND EXCHANGES

Research joint collaborations in the frame of the IFTToMM are carried out by participating in the IFTToMM PCs and TCs. The following Jc-IFTToMM members are actively working at the PCs and TCs:

- Prof. Hirofumi MIURA, Kogakuin University (PC Education)
- Prof. Emeritus Aizo KUBO, Kyoto University (TC Mechanical Transmissions)
- Prof. Hidetsugu TERADA, Yamanashi University (TC Mechanical Transmissions)
- Prof. Norio INOU, Tokyo Institute of Technology (TC Human Machine Science)
- Prof. Nobuyuki IWATUSKI, Tokyo Institute of Technology (TC Robotics and mechatronic)
- Prof. Makoto SHIMOJO, The university of Electro Communications (TC Robotics and Mechatronics)
- Prof. Yoshiaki TERUMICHI, Sophia University (TC Multi-body Dynamics)
- Prof. Shigehiko KANEKO, The University of Tokyo (TC Vibrations)
- Prof. Yoshihiko NAKAMURA, The University of Tokyo (TC Robotics and Mechatronics, Vice President of IFTToMM)
- Prof. Yukio TAKEDA, Tokyo Institute of Technology (TC Robotics and Mechatronics)

4- CONFERENCE EVENTS

The Jc-IFTToMM symposium has been held in June every year before annual meeting as the Japanese domestic conference on theory of machines and mechanisms. The following symposia were held during July 2007-May 2011.

- (1) the 13th Jc-IFTToMM symposium
Date & place: 12th July, 2007, at Conference Room 304, Ohokayama Campus, Tokyo Institute of Technology
Special lecture(1): 'What is old in What is new in MMS research'
by Prof. Marco CECCARELLI, University of Cassino, Italy, 2008-2011 IFTToMM President
Special lecture(2): 'History of IFTToMM in Japan'
by Dr. Teru HAYASHI, Ogasawara Precision Laboratory, Prof. Emeritus, Tokyo Institute of Technology
Presented papers: 19 papers in 6 sessions (Parallel Mechanisms, Dynamics, Kinematic and Dynamic Analyses of Mechanisms, Actuation and Precision Measurement, Robotics, Medical and Welfare Devices)
Participants: 62 participants
Best Paper Award: Mr. Hiroto OYAMA, National Defense Academy
'A Method to Evaluate the Modal Damping Ratio by Using the Modal Open Loop Transfer Function'
Other finalists: Mr. Toshiya SAKAI, Graduate Student, Tokyo Denki University

Mr. Tatsuro Endo, Graduate Student, The University of Tokyo

(2) the 14th Jc-IFTToMM symposium

Date & place: 12th July, 2008, at Conference Room 304, Ohokayama Campus, Tokyo Institute of Technology
Keynote speech: Prof. Toshiro HIGUCHI, Department of Precision Engineering, The University of Tokyo,
2007 IFTToMM Award of Merit

‘Trend of New Actuator Research and Development’

Presented papers: 21 papers in 7 sessions (Control of Robotic Manipulator, Medical and Welfare Devices, Transforming and Evolving Robots, Robot Mechanisms, Micromechanics and Micromechanism, Dynamics, Gearing)

Participants: 52 participants

Best Paper Award: Dr. Kenjiro TADAKUMA, University of Electro Communications

‘Development of the Crawler Unit to Realize Sideway Motion with Circular Cross Section’

Other finalists: Mr. Tadashi YOSHIMURA, Graduate Student, Tokyo Denki University

Mr. Mikio OSAKI, Graduate Student, Tokyo Institute of Technology

(3) the 15th Jc-IFTToMM symposium

Date & place: 11th July, 2009, at Conference Room 304, Ohokayama Campus, Tokyo Institute of Technology

Presented papers: 10 papers in 3 sessions (Robotics, Dynamics and Accuracy, Application of Robots)

Participants: 42 participants

Best Paper Award: Mr. Soichiro MATSUDA, Graduate Student, Tokyo Institute of Technology

‘Development of 3-URU Pure Rotational Parallel Mechanism with Error Compensation Devices’

Other finalists: Mr. Jun TAKEISHI, Graduate Student, Tokyo Institute of Technology

Mr. Kotaro FUJIMOTO, Graduate Student, Tokyo Denki University

Mr. Yousuke AKABANE, Graduate Student, Kogakuin University

(4) the 16th Jc-IFTToMM symposium

Date & place: 6th November, 2010, at Conference Room 304, Ohokayama Campus, Tokyo Institute of Technology

Presented papers: 10 papers in 4 sessions (Transmission Devices and Reducers and Their Vibration, Robotic Mechanisms, Motion and Control of Human, Robot Control)

Keynote speech: Dr. Yukio SAITO, Vice President of Jc-IFTToMM

‘The Technological Innovation of Welfare Devices and Near Future Prosthetic and Orthotic Limb’

Participants: 70 participants

Best Paper Award: Dr. Ko YAMAMOTO, Tokyo Institute of Technology

‘Pedestrian Control Based on Temporal/Spatial Frequency of Crossing Swarm Flows’

Other finalists: Mr. Jun OKAMURA, Graduate Student, Tokyo Institute of Technology

Mr. Masumi IIDA, Kogakuin University

Especially on 5th-9th July, 2008, the 17th CISM-IFTToMM Symposium on Robot Design, Dynamics and Control (ROMANSY2008) was held at International Conference Center, Waseda University, Tokyo, Japan. Prof. Eng. Atsuo TAKANISHI, Waseda University, a member of the Jc-IFTToMM executive committee organized the conference as the chairman of the organizing committee and Prof. Yoshihiko NAKAMURA, the University of Tokyo, the chairman of Jc-IFTToMM served as the co-chairman of the program committee together with Prof. Dr. Eng. Bodo HEIMANN, University of Hannover, Germany. The members of the Jc-IFTToMM Executive Committee actively supported this important international event and led to the success.

5- PUBLICATIONS

The Jc-IFTToMM publishes the Jc-IFTToMM News every year after the annual meeting to report it. The followings issues were published during July 2007-May 2011:

- (1) The Jc-IFTToMM News No.35 (20 pages, 18th December, 2007)
- (2) The Jc-IFTToMM News No.36 (16 pages, 8th July, 2009)
- (3) The Jc-IFTToMM News No.37(14 pages, 4th November, 2010)
- (4) The Jc-IFTToMM News No.38(19 pages, 6th December, 2010)

The Jc-IFTToMM also publishes preprints of the Jc-IFTToMM symposium every year. The followings were published during January 2004 – May 2007:

- (1) Preprints of the 13th Jc-IFTToMM symposium (19 papers, 2 Special lectures, 112 pages, 12th July, 2007)
- (2) Preprints of the 14th Jc-IFTToMM symposium (21 papers, 1 Keynote speech, 128 pages, 12th July, 2008)
- (3) Preprints of the 15th Jc-IFTToMM symposium (10 papers, 55 pages, 11th July, 2009)
- (4) Preprints of the 16th Jc-IFTToMM symposium (10 papers, 62 pages, 6th November, 2010)

6- FUTURE PLANNED ACTIVITIES

The Jc-IFTToMM plans the following activities:

- (1) The Annual Meeting and the Jc-IFTToMM symposium
The annual meeting and symposium will be held in June or July every year. The Jc-IFTToMM Executive Committee will make effort to increase paper presenters and participants. The 17th symposia will be held on 16th July, 2011 at Tokyo Institute of Technology.
- (2) Participation to the 13th ITFoMM World Congress
The 13th World Congress in Mechanism and Machine Science will be held on the 19th-25st June, 2011 in Guanajuato, Mexico. The Jc-IFTToMM Executive Committee will encourage members to submit papers and participate in the congress.
- (3) Organize the 2nd IFTToMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science

The 2nd IFToMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science (Asian-MMS 2012) will be held on 7th-10th November, 2012 at Tokyo Institute of Technology, Tokyo Japan. Call for papers for this conference will be announced soon.

(4) Promotion to hold the future IFToMM World Congress

The Jc-IFToMM Executive Committee decided to promote to hold the 14th IFToMM World Congress in Japan. This candidature will be opened in General Assembly in the 13th IFToMM World Congress in Guanajato.

7- OTHER RELEVANT INFORMATION

The list of current members of the Jc-IFToMM Executive Committee is as follows:

Chairman: Prof. Yoshihiko NAKAMURA (The University of Tokyo)

Vice Chairmen: Prof. Haruo HOUJOH (Tokyo Institute of Technology),
Prof. Atsuo TAKANISHI (Waseda University)

Secretary General: Prof. Nobuyuki IWATSUKI (Tokyo Institute of Technology)

Members: Prof. Takeo ARAI (Osaka University), Prof. Hiroyuki FUJIWARA (National Defense Academy), Prof. Toshio FUKUDA (Nagoya University), Dr. Hiroyuki GOTOH (Japan Society for the Promotion of Machine Industry), Prof. Toshiro HIGUCHI (The University of Tokyo), Prof. Tadaaki IKEHARA (Tokyo Metropolitan College of Industrial Technology), Prof. Norio INOU (Tokyo Institute of Technology), Prof. Takahiro ITO (Kyushu Institute of Technology), Prof. Masaharu KOMORI (Kyoto University), Dr. Yoshiaki KONISHI (NIKKISO), Prof. Atsushi KONNO (Tohoku University), Prof. Ryuji MAENO (Keio University), Prof. Nobuto MATSUHIRA (Shibaura Institute of Technology), Prof. Ichiro MORIWAKI (Kyoto Institute of Technology), Prof. Takeshi NAKADA (Tokyo Denki University), Prof. Aigou MING (The University of Electro Communications), Prof. Jun NANGO (Yamagata University), Prof. Hisami OHISHI (Kogakuin University), Prof. Takaaki OIWA (Shizuoka University), Prof. Masafumi OKADA (Tokyo Institute of Technology), Prof. Tohru OMATA (Tokyo Institute of Technology), Prof. Ken SASAKI (The University of Tokyo), Prof. Hirokazu SHIMODA (Meiji University), Prof. Jorge SOLIS (Waseda University), Prof. Koichi SUZUMORI (Okayama University), Prof. Kiyoshi TAKAMASU (The University of Tokyo), Prof. Wataru TAKANO (The University of Tokyo), Prof. Hideaki TAKANOBU (Kogakuin University), Prof. Yukio TAKEDA (Tokyo Institute of Technology), Prof. Kenjiro TAKEMURA (Keio University), Prof. Eiichiro TANAKA (Shibaura Institute of Technology), Prof. Hidetsugu TERADA (Yamanashi University), Prof. Masaru UCHIYAMA (Tohoku University), Prof. Gentiane VENTURE (Tokyo University of Agriculture and Technology), Prof. Hitoshi YAMANAKA (Numazu National College of Technology), Prof. Masashi YAMANAKA (Ichinoseki National College of Technology), Prof. Masahito YASHIMA (National Defense Academy), Prof. Shinichi YOKOTA (Tokyo Institute of Technology)

Inspectors: Dr. Takeshi OWA (Shibaura Institute of Technology),
Prof. Emeritus Kenichi YOSHIMOTO (The University of Tokyo)

The logo mark shown on the right was approved as the official logo mark of Japanese Council of IFToMM. This was designed by Mr. Takuro Ikeda in 2003. He symbolized a growing fruit through the international cooperation in the community of the IFToMM.



Date: 30th May, 2011

Name, address, and e-mail of the Chair:

Prof. Yoshihiko NAKAMURA, Dr. Eng.
Chairman of Executive Committee, the Japanese Council of IFToMM
Department of Mechano-Informatics
The University of Tokyo
7-3-1 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8685, JAPAN
Tel.: +81-3-5841-6379
Fax.: +81-3-5841-7916
E-mail: nakamura@ynl.t.u-tokyo.ac.jp



The first announcement

Call for Papers

The 2nd IFTOMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science November 7-10, 2012, Tokyo, Japan

Sponsor:

Japanese Council of IFTOMM

Co-sponsor:

International Federation for the Promotion of Mechanism and Machine Science

Conference Chair:

Nobuyuki IWATSUKI
Secretary General, Jc-IFTOMM
Tokyo Institute of Technology

Program Co-chairs:

Yukio TAKEDA
Tokyo Institute of Technology
Chintien HUANG
National Cheng Kung University

Scientific Committee:

Chair: Shuo Hung CHANG (Taiwan)
Members: Yoshihiko NAKAMURA (Japan)
Feng GAO (China)
C. AMARNATH (India)
I-Ming CHEN (Singapore)
Nguyen Van KHANG (Vietnam)
Marco CECCARELLI (IFTOMM)

International Steering Committee:

China: Zong Quan DENG,
Feng GAO,
Zhen HUANG,
India: C. AMARNATH
Italy: Marco CECCARELLI
Japan: Hirofumi MIURA,
Yoshihiko NAKAMURA,
Haruo HOUJOH,
Atsuo TAKANISHI,
Korea: Chong-Won LEE,
Frank Chongwoo PARK
Malaysia: Masjuki Hj. HASSAN
Russia: Veniamin GOLDFARB
Saudi Arabia: S Aliul H RIZVI
Singapore: I-Ming CHEN,
Wei LIN
Taiwan: Shuo Hung CHANG,
K. C. FAN,
Chen-Kuo SUNG,
Ren-Chiuan LUO
Vietnam: Nguyen Van KHANG

Honorary Chairs:

Hiroaki FUNABASHI
Jc-IFTOMM fellow
Professor emeritus, Tokyo Institute of Technology
Kenichi YOSHIMOTO
Jc-IFTOMM fellow
Professor emeritus, The University of Tokyo

Date:

November 7 (Wed) - 10 (Sat), 2012

Conference site:

Ookayama Campus, Tokyo Institute of Technology
2-12-1 Ookayama, Meguro-ku, Tokyo 152-8552, Japan

Access: 40 min. by train and subway from Haneda International Airport or
2 hrs. by train and subway from Narita International Airport
(See attached map in bottom page)

Scope of the conference:

Aiming to enhance cross communication among researchers, industry professionals and students from Asian countries from the broad ranges of disciplines referring to mechanism and machine science, the first IFTOMM Asian Conference on Mechanism and Machine Science (Asian-MMS2010) was held in Taipei, Taiwan. The second conference will be held in 2012 in Tokyo, Japan to continue with the spirit this wonderful event in Asian region. In this conference, issues related to mechanism and machine science including their theory, application, analysis, design, elements, systems, history, and education for the society will be discussed.

Technical Sessions:

In addition to the regular tracks of technical presentations, the technical program will also feature several invited sessions. Topics of interests include, but are not limited to

- (1) Theoretical kinematics
- (2) Computational kinematics
- (3) Machine elements
- (4) Actuators
- (5) Gearing and transmissions
- (6) Linkage and cam
- (7) Mechanism design
- (8) Dynamics of machinery
- (9) Tribology
- (10) Vehicle mechanism, dynamics and design
- (11) Reliability
- (12) Experimental method in mechanism
- (13) Robotics and mechatronics
- (14) Biomechanics
- (15) Micro/nano mechanism and machine
- (16) Medical/welfare devices
- (17) Nature and machines
- (18) Design methodology
- (19) History of mechanism and machine science
- (20) Education in mechanism and machine science



Organizing Committee:

- Chair:** Shinichi YOKOTA
Members: Tatsuo ARAI
 Hiroyuki FUJIWARA
 Toshio FUKUDA
 Hiroyuki GOTO
 Toshiro HIGUCHI
 Tadaaki IKEHARA
 Norio INOU
 Hiroshi KAMINAGA
 Kazuo KIGUCHI
 Koki KIKUCHI
 Takashi KOMEDA
 Masaharu KOMORI
 Yoshiaki KONISHI
 Atsushi KONNO
 Ryuji MAENO
 Akihiro MATSUMOTO
 Aigou MING
 Toyomi MIYAGAWA
 Ichiro MORIWAKI
 Takeshi NAKATA
 Kazuteru NAGAMURA
 Jun NANGO
 Hisami OISHI
 Takaaki OIWA
 Masafumi OKADA
 Tohru OMATA
 Kengo ONISHI
 Ken SASAKI
 Hirokazu SHIMODA
 Jorge SOLIS
 Koichi SUZUMORI
 Kiyoshi TAKAMASU
 Wataru TAKANO
 Hideaki TAKANOBU
 Kenjiro TAKEMURA
 Eiichiro TANAKA
 Hidetsugu TERADA
 Masaru UCHIYAMA
 Gentiane VENTURE
 Masahito YASHIMA
 Hitoshi YAMANAKA
 Masashi YAMANAKA

Technical Sponsors:

- The Japan Society of Mechanical Engineers
- The Japan Society for Precision Engineering
- The Robotics Society of Japan
- Japan Society for Design Engineering
- Japanese Society of Tribologists
- Society of Automotive Engineers of Japan
- The Society of Instrument and Control Engineers
- Japanese Society for Engineering Education
- Japan Mechanical Design Industries Association
- Japan Robot Association

(Tentative)

Conference Website:

More details are available in the following conference website:

<http://www.jc-iftomm.org/Asian-MMS2012>

Download the author's kit and the registration form of the conference from the Website.

Registration fees:

	Early Registration (Before Sep.16, 2012)	Regular registration (After Sep.16, 2012)
Regular Participant	JPY 32,000	JPY 40,000
Student	JPY 24,000	JPY 30,000
Accompanying Person	JPY 6,000	

Optional programs:

The organizing committee is now planning the pre-and post-conference tours including programs for accompanying families. They will be announced.

Program: (Tentative)

- November 7 (Wed) Registration
 Opening ceremony
 Keynote speeches
 Technical sessions
- November 8 (Thu) Keynote speeches
 Technical sessions
- November 9 (Fri) Technical sessions
 Lab tour
 Banquet
- November 10 (Sat) Technical sessions
 Closing Ceremony

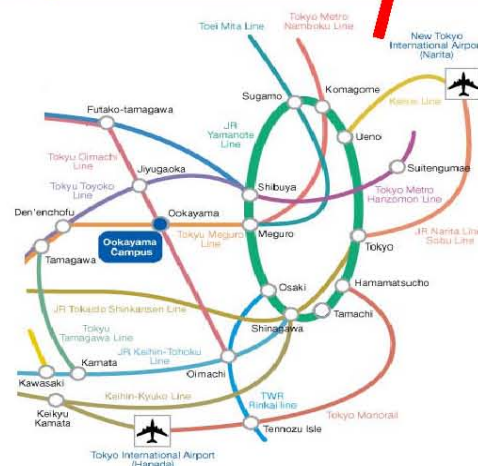
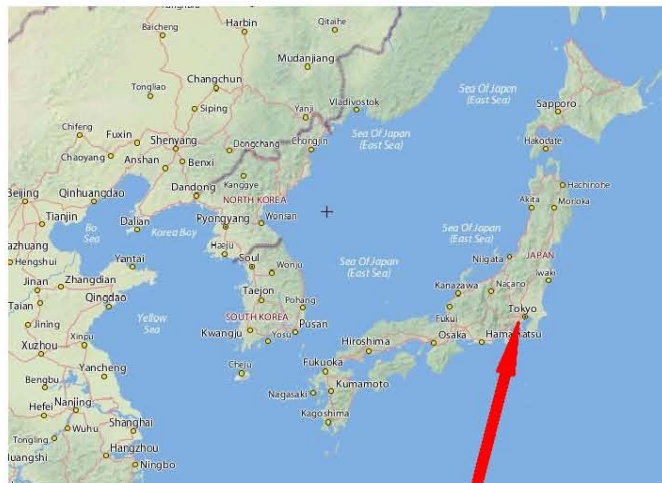
Submission Procedure:

Full papers should be submitted by May 31, 2012 via conference WEB site: <http://www.jc-iftomm.org/Asian-MMS2012>

Submission form and template files for the full papers will be downloaded from the WEB site.

Deadlines:

Submission of full papers	May 31, 2012
Notification of acceptance of papers	August 1, 2012
Submission of final manuscripts	August 31, 2012
Deadline for early registration	September 15, 2012



Map of the conference site

Conference Secretariat:

Prof. Masafumi OKADA
 Department of Mechanical Sciences and Engineering,
 Tokyo Institute of Technology
 2-12-1 Ookayama, Meguro-ku, Tokyo 152-8552, Japan
 E-mail: Asian-MMS2012@jc-iftomm.org